

輸出事業計画

申請者名：静岡市茶業振興協議会、品目：茶

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・協議会としての輸出は行っていないが、協議会の構成団体の1つである静岡市の事業が介在した輸出量は0.56 t（R 2年度）。輸出先は、イタリアとドイツ。
- ・この輸出量は日本全体の輸出量のうち、0.1%以下のシェアとなっている。

【課題】

- ・生産：市内の茶園は、国内需要に応えるための慣行栽培が多く、「量より質」を重視している傾向であるが、この「質」については、海外が求める「有機茶」とは相反関係にあるため、本市の「質」を維持しながら、海外ニーズとマッチした輸出可能な茶づくりの拡大が課題。
- ・流通/販売：生産者、茶商、行政などの関係者が一体となって輸出拡大に取り組む体制が構築できていない。市内茶商が輸出している茶のうち、本市産は3%程度しかない。

2. 輸出事業計画の取組内容

- 本市産の茶の輸出量拡大を目的とした「サプライチェーン」を構築。
サプライチェーンにて、茶生産者と茶商のマッチングを行い、輸出の基点とする。
- 基本的な輸出ターゲットエリアはE U各国に設定。E U各国でのリーフ茶の輸出拡大を目指す。
新規販路獲得を目指す重点ターゲット国→フランス、既存商流の拡大を図るターゲット国→ドイツ、イタリア

【生産】

- ・土壌分析、残留農薬検査の実施
- ・G A P、有機J A S等の第三者認証の取得促進

【流通/販売】

- ・海外プロモーションの実施（現地プロモーション、インフルエンサーの起用）
- ・情報発信及びブランディング
- ・香り緑茶の販売と供給体制の構築

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

輸出サプライチェーン体制本部

構成団体	静岡市	J A 静岡市	J A しみず	静岡茶商工業 協同組合
	事務局・全体管理	生産・加工 茶生産者の支援・選定	生産・加工 茶生産者の支援・選定	販売業者の選定
オブザーバー	J E T R O 静岡	J A 静岡経済連	世界緑茶協会	静岡県 中部農林事務所
	販路開拓支援 海外市場の情報収集	生産技術支援	海外市場の 情報収集・発信	生産技術支援

4. 輸出目標額

	現状（令和2年度）	目標年（令和6年度）
輸出額（円）	2,917,000	97,500,000
輸出量（t）	0.56	15
輸出先国	イタリア、ドイツ	フランス、イタリア、ドイツ他